



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立 1964年3月2日 ■例会日 毎・金曜日 12時30分 ■例会場 オークラ千葉ホテル
 ■会長 酒井 秀大 ■幹事 山本 康永 ■会報委員長 岡田 敦志
 ■事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2024-25年度

第2862回

2024年8月9日(金) 点鐘12時30分 (晴れ)

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

本日はいらっしやいませんでした。

◆会長報告 酒井 秀大会長

昨日は、宮崎で M7. 1の地震がありました。「南海トラフ大地震の注意情報」というものが気象庁から発表されまして、このような地震についての注意情報がでるのは、初めてのことだそうです。



ここ 1 週間くらい、南海トラフの地域で地震が発生する確率が0. 5%、同様の状態にあるときで200回に1回は大地震が起こることですから、自然界の現象としては、確率が高いのかなと、思います。通常時の確率が0. 1%ということですから、それに比べると5倍くらい確率が高いということで、九州、四国、関西方面へのお出かけの際にはご注意くださいと思います。

お盆の帰省の時期にも重なって、混乱が予想されるころでして、東海道新幹線は、静岡県から愛知県の区間で最高時速を 285 キロから 230 キロに減速して運転をするそうです。

そもそも、私たち関東地域、千葉市については、30年以内の大きな地震の確率が85%とされていて、日本の中でもトップクラスの地震発生可能性がある地域で日々の生活をしている状況です。

いつ大地震が来てもおかしくないわけですから、常に地震が来ても対応できるようにして、生活はする必要があります。あらためて、家庭、職場、学校などでの地震対策、防災用品の点検、備蓄食料の点検をしていただくいい機会ではないかと思えます。

電気、ガス、水道が止まることを考えて、水と食料については、最低でも3日分を備蓄しておくことがいいとされているようですので、私自身も、そこまで備蓄できていないところではありますが、あらためて、この機会に確認したいなと思いました。

◆委員会報告

出席委員会(齋藤良堯委員長)
2023-24下期皆出席賞 15名

◆幹事報告 山本 康永幹事

◆出席報告 (会員数 59名)

出席者数	欠席者数	ビジター	7/26 修正出席率
38名	21名	0名	100%

◆ニコニコボックス報告

●酒井 秀大会長、山本 康永幹事

オリンピックでの日本人選手の皆さんの活躍には、感動しっぱなしです。選手の皆さんもさることながら、応援している人たちの様子も放映されますが、これもまた感動してしまいます。オリンピックも間もなく終わってしまいますが、次の大会に向けて頑張ってもらいたいと願っております。

このところ不安定な天気が続いております。台風も襲来しそうです。お盆でお出かけの際にはくれぐれもお気をつけてくださいますように。

●高橋 豊会員

本日、SAAで司会デビューとなりました。よろしくお願ひしませーす！

●呑み会同好会参加者一同

8月7日(水)に「呑み会」同好会の集まりがありました。
楽しいひと時を過ごすことができました。

本日のニコニコボックス	9,000 円	累計	129,335 円
-------------	---------	----	-----------

本日の卓話

卓話者⇒ 須田 勇一 会員



昨年5月に、入会以来、約1年卓話のお話を頂かなかったことを、心の中で、しめしめとっておりましたら、先月、ついに、『あれ？須田君、君卓話やってないよね、じゃあ8月お願いね』と、ついに捕まってしまいました。

大勢の方の前に出てお話する機会もそうそう無いので、お見苦しい点、お聞き苦しい点あるかと思いますが、よろしく願いいたします。

どんな仕事をしているかと言いますと、賃貸のアパート、マンション周りのお仕事になります。

2014年に、現会社の前身である会社の千葉支店として千葉の地に来ました。2019年に、現在の「ねいばーふっど」として独立致しました。ありがたい事に、お取引のオーナー様の口コミによりご紹介もあり、管理戸数も徐々に増えてお仕事を頂けていることに本当に感謝です。

さて、こんな私ですが、今に至るまで、散々な人間でして、
いろいろな『しくじり』をして参りました。

- ・小学校からイヤイヤながら塾通い三昧、市川にある中高一貫校にトップ3の成績で入学するも、ぬるま湯につき、あわや、高校に上がれなくなるほど成績を落とす。
- ・やりたい事も特になく、大学受験を1校しか受けず、大学受験失敗
- ・親に頭を下げ、受験浪人させてもらうも、ろくに授業も受けず、バンド活動を始める。当然、大学受験失敗。
- ・再度、親に頭を下げ専門学校に行くが、就職活動が嫌で1年半で自主退学。
- ・その後、実家の『敷居をまたぐな』と勘当。父親とは7年に及ぶ交信不能な状態に。

・バンドマン&フリーターとして生活するも、お金がなさ過ぎてだらしのない生活の末、入院。

・入院中に読んだ沢木耕太郎の『深夜特急』に憧れ、バックパッカーを目指しお金を貯めようと、新たに、エイブルという不動産会社にアルバイト募集面接に行き、『社員としてなら雇用する』という返答を固辞し、母親に泣かれて、仕方なく就職。

・就職して働くも長続きせず、友人が開業したラーメン店を手伝うが、うまくいかず。

・やめた会社の上司が独立するから来いという言葉に甘え、再度スーツを着るお仕事に。

(ここから、ようやく、改心します。)

・8年経験を積まさせて頂き、同僚と共同経営という形で独立。

・その後、2店舗までは増やすが、その後、共同経営者の使い込みが発覚し、給与約1年不払いを気が付かず、協議の末、会社分割し独立。

今、この年齢になって書き連ねていくと、『全体的になめている』し、『人任せの人生観』、『失敗を繰り返し顧みない態度』、『人の期待を自分本位な理由で簡単に裏切る行為』、『楽しいことだけをしていればいいじゃん!』というイソップ童話のキリギリス感。

なぜ、こんな人間になってしまったかという・・・

小学校時代に、大きく影響を受ける環境がありました。父の職業が『米国公認会計士』という職業でして、小さい頃はアメリカ、日本を行ったり来たりの生活でした。

ちなみに3人兄弟なのですが、姉・弟はアメリカ生まれ、私だけ、日本生まれの多国籍家族です。

幼稚園は、アメリカの幼稚園に通い、帰国後日本の小学校へ通学することになります。

『アメリカ帰り』という事で、周りからは羨望のまなざしで見られ『ちやほや』される、幼少期を過ごします。(・誕生日や英語をしゃべるなど)

『三つ子の魂100まで』と言いますが小さい頃の環境というものは人格形成に多大な影響を及ぼすなあと思います。みんなが寄ってくるわ、友達からはプレゼントもらうわ、卒業式の寄せ書きは書ける場所が無くなるほどで、自分史上最高な時代だったと思います。いわば、なんでも周りの人がやってくれる様な状態でした。当然、目立つ分、いじめられる事もありましたが、友達や先生が守ってくれます。何をやっても、許されるし助けてくれると、温情や好意を都合のいいようにとらえたまま、中学、高校時代もすごしていきます。成績は落ちこぼれだが、部活や学園祭でのバンド活動など学園生活は楽しく過ごし、大人になる自覚のないまま、只々、楽しい時間を過ごしました。

当然、将来の自分の姿に目標も持たず、卒業。

そんな中でただらとした受験浪人中に、同級生からバンドに誘われ、その後7年に及ぶバンド活動をスタートさせました。音楽のジャンルはガレージロックという1960年台のロックジャンルにカテゴライズされ、古くは、ローリングストーンズ、イギーポップ、日本ではシーナ&ロケッ

ツ、少年ナイフ、ミッシェル ガン エレファント、売れる前のブルーハーツなどが属していたジャンルになります。チェックのズボンに赤いネクタイ、演奏は下手だが、動きのあるステージング、軽快なロックで暴れるロックキッズたちを熱狂させ、人気もそこそこあり、関西方面や海外へのツアーなども行かせて頂けるようになりました。6年間でレコード4枚、外人バンドのツアービデオ出演、オムニバスCD2枚、フルCD1枚と、そのうちレコード2枚は海外でリリースさせて頂きました。

海外ツアーは2年連続で呼んで頂いて、1年目はアメリカテキサス(ダラス、ヒューストン、オースティン、フォートワース)。2年目はカナダ(バンクーバー)アメリカ(アリゾナ州フィニックス)(テキサス州ヒューストン、ダラス)(ルイジアナ州ニューオーリンズ)を回らせて頂きました。海外の方たちは、とても好意的で初めて聞く僕らの演奏にも、手をたたき、踊り、声を上げて楽しんでくれたり。演奏後は、サインくれ！どうすれば、日本でのライブ映像を見れるんだ？日本では有名のか？酒をおごらせてくれ！今度はいつやるんだ？今度は、いつ来るんだ？などなど、いろいろな人たちに興味を持っていただく事が出来、帰国。

帰国後、『俺たちどうなっちゃうんだあ？この後・・・』など今後の期待に胸を弾ませた。その後の、ライブオファーも増えてきた時、私が肺結核にかかり約10カ月入院。ライブオファーは断り、そのまま、メンバーの仕事も忙しくなってきたそのまゝ、活動縮小となり、無念ながら、バンドは解散になりました。

入院中に、父親と7年ぶりに和解し、人生を考えるためにインドに行こうと、退院後、父親の誘いとともにインドへ。

良いも悪いも、インドに衝撃を受ける。カーストという階級社会に縛られ貧困を余儀なくされる人々、その階級の範囲の中で必死に生きる人たち。生まれた瞬間から、将来が決められている人々。教育を受ける事もない児童労働者があふれかえる町。もやもやしたモノを心に抱え、父親に感謝しつつインドをたつ。

インド後にいろいろな国を見たく、バックパッカーを目指すが、就職により断念する。楽しくは過ごしていたが、転職を繰り返し自分の中の達成感というか充足感というモノを感じられず、モヤモヤとしたものが。

その時、ふと、『日本人なのに富士山上がったことないな？』と思い、大した下調べもせず、登山靴とヘッドライトと雨合羽を購入し1人富士山に向かう。

それまで、登山など、したこともなくアウトドアな遊びも釣りやスキーくらいしかしていなかったの、体力もなく、電柱も自販機もコンビニもない大自然の中、只々辛い足の上下運動の繰り返しで、周りの人を見て、なんで、この人たちはこんな事をしているんだ？周りを見ても、笑顔の人間なんて、1人もいなかったんです。頭を押さえ地面にへたり込み休む人、杖をお互いに引っ張りつつ登っていく人、もう無理だと判断し下山してい

く人、ケガをした様で山小屋に運ばれていく人『ここは地獄か？』と思いました。そんな中、地獄の先に歩を進めて行くが、一向にゴールは見えず、日は落ち、気温はどんどん下がり、濡れた衣服がどんどん体温をうばっていく。

暗闇の中、歩く人は減って行き、なぜ、俺はここにいるんだ？登ったからって何になるんだ？自問自答の末、これ以上は、もう無理だ、夜が明けたら、下山しようと思い。登山道で野宿をすると凍死すると思ったので、ダメ元で山小屋に、『予約していないんですが入れますか？』と声をかけたら、山小屋のお兄さんが、快く迎え入れてくれました。山小屋の雑魚寝部屋に入り、よほど疲れていたのかすぐ就寝。

しばらくすると、周りがざわざわと動いている気配が。まだ、夜中の2時、真っ暗な中、山頂を目指し移動開始の時間の様です。寝たことで、気力が戻ったのか、『どうせなら、ご来光を見よう』という、意識が変わり、頂上を目指し改めて歩みを進めました。真夏の8月、山頂の気温は2℃、凍える体を震わせつつ、ついに到着。生まれて初めて頑張った自分をほめる事が出来た瞬間だった。ただ、そんな思いも、しばらくすると、空のかなたに吹飛ぶ。頂上はさらに風が強く、ただ、じっとしている人間の体力を奪っていく。『ああ、やっぱり下山した方が良かった。無理してこんな所まで来るんじゃないかった。』その瞬間、周りから『ワー』という歓声が沸き起こり、空にほんのりと明かりが差し込む。ゆっくりゆっくりと登ってくる太陽を見ながら。

目の前の景色がにじんできてる。ただ涙が出、えも言われぬ感情がこみ上げる。毎日当たり前にある太陽があれほど、暖かく、感謝の気持ちにしてくれる事美しい景色を目の前に、夜明けから、しばらく動く事さえできずに、只々涙する事しかできなかった。

月並みではございますが、初めて登った山で、教えてもらったことは、覚悟でした。自分の足で自分の道をシッカリ歩め。誰も上までは運んでくれないが、協力して上を目指すことは出来る。困っている人が居れば、可能な限り手を差し伸べる。

自分で目指した目標は捨てたり、あきらめたりするのは自由だが、やり切った者にしか見られない景色がある。あと、山に登ると2Kgは痩せる・・・。

第2863回例会

日 時⇒ 2024年8月23日(金) 点鐘12:30

卓 話⇒ 『日本から憎しみの連鎖をどうほどくか？
対話を通じたテロ・紛争解決の現場から』

卓話者⇒ NPO法人アクセプト・インターナショナル
コミュニケーション局 局長 山崎 琢磨様